



## 北海道開発局の先生と一緒に川の安全について考えました。

豊成小学校の3年生は、4月のサケの稚魚放流から始まり、機関庫の川の水調べ（水生昆虫や水質検査）、十勝多自然ネットの全面バックアップによる水辺体験学習、帯広畜産大学の先生による川周辺の自然環境学習など、機関庫の川を活用しての充実の学習を進めてきました。

そして今回（12/3）は、川の魅力をたっぷり学習できた子どもたちのために、北海道開発局帯広開発建設部の小泉さん、能代さんにお越しいただき、川について学ぶ上で最も重要な「川の安全について」のお話を聞きする機会をいただきました。

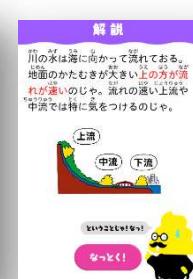
授業の前半では、川には「上流」「中流」「下流」があるということ、「上流」から小さな川が集まり、次第に大きな川になり海に流れていくことについて、映像を使ってわかりやすく説明していただきました。ポイントは3つあり、①川には流れが速いところと遅いところがあること ②川には深いところと浅いところがあること ③川の水が増えるとともに流れが速くなり深くなることです。また、ライフジャケットの必要性についても動画を交えて、再確認することができました。

今年度、川での活動を経験してきた3年生だからこそ、川には危険があることや守らなければいけない約束事があることを改めて自分事として確認することができました。

川の魅力をたくさん知った子どもたちは、今後はより視野を広げて学習を進めていくことになります。この1時間を通して、川の魅力と安全の両面について楽しく学ぶことができた様子でした。

### ～子どもたちの感想より～

- ・プールと違い、川には流れがあり深いところや浅いところがあるなど、多くの危険があることがわかった。
- ・川に流されたときは、動画を見て、足を上げるとよいことやライフジャケットの大切さを知った。



天候がよいときの十勝川（左）と平成28年の増水が起ったときの十勝川（右）の写真の様子を比較しました。環境の変化によって、多くの変化や危険が迫ることについて、正しく理解することができました。